

アンジェの3つの文書

— 17世紀初頭の劇団協約 —

戸口民也

ここで紹介する3つの文書は、17世紀初頭に「王の俳優」comédiens du roi を名乗る役者たちがアンジェ Angers の公証人ギヨーム・ギヨ Guillaume Guillot のもとで作成した劇団協約 acte d'association である⁽¹⁾。文書1と3は私が発見したもので、全文を公表するのはこれがはじめてである。文書2はすでに本誌で紹介したことがあるが、この機会に改めて掲載することにしたい⁽²⁾。フランスの地方都市の、しかも年代的に接近したこれらの文書の全文をまとめて紹介することにはそれなりの意義があると思う。

それぞれの文書の日付、分類番号、文書に記載されている俳優たちの名前⁽³⁾、協約の概要および特記事項は以下のとおりである。なお、文書の読解にあたっては、Archives départementales de Maine-et-Loire のアンドレ・サラザン André Sarazin 氏のお世話になった。ここにその旨を記して感謝申し上げる次第である。

文書1

[日付] 1600年3月22日

[俳優] Mathieu Le Febvre (ou Lefebvre) sieur de La Porte、Jacques Robineau sieur de La Bretonnière、Fleury Jacquault⁽⁴⁾ sieur de Montfleury、Claude Husson sieur de Longueval、Daniel Dugué sieur de La Chesnaie、Alexandre Hardy — 以上6人全員が署名している。

[分類番号] 5 E 5, 9 1

この分類番号のもとにギヨーム・ギヨ関係の1597年から1600年までの文書が束 *liasse* としてまとめられている。ひとつひとつの文書に文書番号は付けられていないが、その代わりに各文書の冒頭には、後に文書を整理し直した時の書き込みと分かる字体で、日付と内容が書き加えられている（この協約文書の場合は *Société 22 Mars 1600* と記されている）。しかも全ての文書が日付順に並べられているので、例えばこの文書の原本を古文書館で確認しようと思えば、分類番号と日付をもとに、簡単に見つけ出すことができる。他の2つの文書についても同様である。

[協約の概要] 劇団協約の当事者は Mathieu Le Febvre (ou Lefebvre)、Jacques Robineau、Fleury Jacquault、Claude Husson、Daniel Dugué、Alexandre Hardy の6人。協約期間は本日から来年の同じ日までの1年間とする。その間、都市を巡り、適当と思われる場所で「劇や物語」*comedies et histoires* を上演する。団員の同意無しに劇団を離れたり上演を休んだりしてはならないし、違反した時は50エキュの罰金を払うものとする。団員の誰かが病気あるいは事故にあった時は完治するまで劇団が食事や治療などの面倒を見る。費用も劇団が負担する。劇の上演あるいはその他のこ

とで得られた収益は平等に分配する。収益の総額の7分の1は「喜劇、悲劇、田園劇、その他の劇を演じるのに適当な衣装のための費用」*l'entretien des habitz et accoustremens qu'il leur conviendra pour représenter leurs comedies tragedies pastoralles et autres jeux*とし、この7分の1相当額はLe Febvre、Robineau、Jacquault、Hussonが取り分けるものとする。残りは均等に分割し、各自が6分の1を受け取る。食費、劇上演の場所の賃貸料、移動運搬費用など必要経費はすべて、収益を分配する以前にあらかじめ取り除けておく。劇団員は互いに仲良く誠実にし、誰も不利益や不都合をこうむらないよう配慮しあい、喧嘩や対立がないようにし、一致協力することを約束する。なお、劇団員とともにいる「見習たち」*enfants*については、団員全員の合意がない限り、劇団を離れることはできない。見習たちの食費や生活費は劇団全体の費用によってまかなわれるものとする。HardyとDuguéについては、本人が望めば、衣装のための費用を分担して払い、それに応じて衣装経費の分配にあずかることができる。JacquaultとDuguéはバイオリンやその他の楽器の演奏ができるので、二人またはそのうちの一人が協約期間中に舞踏会などで演奏した時は報酬の全額を受け取ることができる。ただし、この二人または一人が舞踏会などに演奏しに行けるのは、劇団全体が上演する必要がないときに限る。

[特記事項] Alexandre Hardyに関する文書資料としては、これが最も古い文書である。しかも、名前が記されているだけでなく署名まであるので、その資料的価値はきわめて高い。Hardyは早くからValleran Le Conteの座付作者になっていたという推測がこれまでほとんど定説のようにになっていたが、この文書の発見により「定説」の見直しが必要となったことは確かである⁶⁾。Hardyが作者*poète*としてではなく、俳優*comédien*として劇団に加わっていることにも注意すべきだろう。この文書には女優の名前は一人もない。実際に存在しなかったのか、あるいは文書に名前が記されていないだけなのか、どちらともいえないが、文書2と3では女優の名前も記されていると対照的である。

「見習たち」*enfants*については、次の文書2では4人の名前が記されているが、この文書では人数も名前も記されていない。ただ、「取り分」*part*にあずかれない—また協約文書にも名前が記されることがない—「見習たち」が実際に劇団に加わっていたことがこの文書によって確認できるわけである。

劇団の総勢は、正規の劇団員6人に「見習たち」が複数いるので、少なくとも8人を越えるはずである。この他に劇団員の妻や家族あるいは召使いなどが加わっているとしたらさらに人数は多くなるだろう。ただ、協約文書ではそこまでは触れられていないので、残念ながらこれ以上詳しいことはわからないままである。

文書2

[日付] 1603年8月19日

[俳優] Jacques Robineau sieur de La Bretonnière、Fleury Jacquault sieur de Montfleury、sa femme Colombe Vénier⁶⁾、Daniel Dugué sieur de La Chesnaie、sa femme Claude Piton、Léonard Dalanbour

(ou d'Alambourg) ⁷⁾— Claude Piton を除く5人が署名している。なお「上記 Piton は署名ができないとの申し立てあり」ladite Piton a dit ne scavoir signer と協約本文の末尾に記されている。

準座員もしくは見習として Toussaint Dallibert、Julien Bedeau、Callais Anquetif、François Bedeau の4人の名前も記されており、このうち Callais Anquetif は文書に署名している。

[分類番号] 5 E 5, 9 3

この分類番号のもとに1603年から1604年までの文書がまとめられている。

[協約の概要] 劇団協約の当事者は Jacques Robineau、Fleury Jacquault とその妻 Colombe Vénère、Daniel Dugué とその妻 Claude Piton、Léonard Dalanbour (ou d'Alambourg) の6人。協約期間は本日から翌年の「四旬節前日」caresme prenant までとし、適当と思われる都市や場所で「喜劇、悲劇、田園劇、その他の劇」*comédies, tragédies, pastorales et autres jeux* を上演する。劇上演の場所の賃貸料、荷物の運搬費用など必要な経費はすべて収入からあらかじめ取り除けておく。必要経費を取り除けた後の収益は次のように分配する。すなわち、Robineau、Jacquault、Dugué、Dalanbour はおのおの平等に「取り分1」*une part* を受け取る。また女性二人はおのおの「上記取り分の4分の3」*trois quarts d'une desdites parts* を受け取るが、Vénère については本日から1ヶ月間は「取り分2分の1」のみとし、1ヶ月たった後から「取り分4分の3」を受け取るものとする。劇のなかで女性が一人しか必要ないときは Piton と Vénère が1日おきにその役を演じる。また、二人が同時に演じることが望ましい場合は、Piton が主役を Vénère は脇役を演じるものとするが、Piton が主役の台詞を必要な時まで覚えられず、しかも Vénère の方が早く台詞を覚えていた時は、Vénère が主役を演じる。劇団に加わっている Toussaint Dallibert、Julien Bedeau、Callais Anquetif、François Bedeau については、食費や生活費は劇団員全員の共通の費用によってまかなわれるものとし、取り分や報酬にはいっさいあずからない。ただし、Dallibert と Julien Bedeau は来年の四旬節前日以降はおのおの「取り分2分の1」*demye part* を受け取ることができる。また Dallibert と Julien Bedeau に対しては来年の四旬節前日にその時までの奉公に対する報酬としてそれぞれ衣服1着が与えられる。劇団員は互いに仲良く誠実にし、収益の確保と損失を避けることに努め、喧嘩や対立がおこったときは他の団員ができるかぎり穏便にとりなすようにする。

[特記事項] 17世紀初頭はまだ女優の存在が文書資料などで確認しにくい時代であることを考えれば、この文書に Colombe Vénère と Claude Piton という二人の女優の名前が記されていることはきわめて重要である。しかも、彼女たちの取り分や役を演じる際の優先順位などまで具体的に示されている点も大変興味深い。協約文書から察するに、おそらく Claude Piton の方が先輩格なのだろうが、「ladite Piton a dit ne scavoir signer」とあるように、読み書きができなかったのだろう。そのため、台詞を覚えるのに手間取り、Colombe Vénère に先を越されることもあったに違いない。

見習4人の名前が明記されている点にも注目したい。そのなかでは Dallibert と Julien Bedeau の二人が先輩格であろう。しかし、彼らではなくなぜ Callais Anquetif だけが正規の（つまり「取り分」にあずかる権利を持つ）劇団員たちとともに文書に署名しているのか、理由は不明である。なお、後に Julien Bedeau は Jodelet として、François Bedeau は L'Espy として活躍することになる。

劇団の総勢は、正規の劇団員 6 人に「見習たち」4 人を加えれば、少なくとも 10 人となる。ただし、文書 1 と同様に、それ以上詳しいことはわからない。

文書 3

[日付] 1606 年 2 月 9 日

なお、2 月 9 日付の協約は 3 ページ目の途中で終わっており、その後から 4 ページ目にかけて 2 月 15 日付で補足事項が書き加えられている。

[俳優] Fleury Jacquault sieur de Montfleury, sa femme Colombe Vénère, Robert Guérin sieur de La Fleur (むしろ笑劇役者 Gros-Guillaume として有名)、Pierre Janvier, Nicolas Gasteau および « présents » として (立会人として同席?) Léonard Dalanbour (ou d'Alambourg)、Hugues Leroux joueur d'instrument — 以上 7 人 (俳優 5 人だけでなく立会の Dalanbour と Leroux も含めて) 全員が署名している。

なお、2 月 15 日付の補足で言及されているのは、俳優側では Jacquault、Janvier、Guérin、Gasteau の 4 人、そして Hugues Leroux とその兄弟 Jean Leroux sieur de la Roussière、および「立会人として同席した同劇団の Guillaume Desforges および Jehan Valliot」présens Guillaume Desforges et Jehan Valliot de ladite compagnie, tesmoins である。— 以上 8 人 (俳優 4 人、Leroux 兄弟、立会 2 人) が署名している。

[分類番号] 5 E 5, 9 4

この分類番号のもとに 1605 年から 1606 年までの文書がまとめられている。

[協約の概要]

1606 年 2 月 9 日の協約

劇団協約の当事者は Fleury Jacquault とその妻 Colombe Vénère、Robert Guérin、Pierre Janvier、Nicolas Gasteau の 5 人。協約期間は本日から 1 年間とし、適当と思われる都市や場所で「悲劇、喜劇、物語」tragédies, comédies et histoires を上演する。衣装はそれぞれが劇の上演に適したものを用意する。また、収益は平等に分配し、「おのおのが 5 分の 1」chacun ung cinquième を受け取る。荷物の運搬費用、劇上演の場所の賃貸料、その他の必要経費はすべて、あらかじめ取り除けておく。協約期間中は、劇団員は誰であれ、全員の同意無しに劇団を離れたり本協約に違反したりしてはならず、これに反した時は 150 リーブル livres tournois の罰金を払うものとする。なお、Fleury Jacquault とその妻が本協約に違反した場合は、「オルレアンでの jugement (判決あるいは協定?) に従って」 suivant le jugement donné entre eulx à Orléans 書き写した劇の台本の不足分もしくは残りの部分を他の劇団員に提供する旨を約束する。違反が他の劇団員による場合、Janvier とその妻については上記台本の提供を免除される。「上記劇団員の召使い使用人」 les serviteurs et domestiques desdits assotiez の食費、生活費については、劇団共通の経費でまかなわれる。劇団員全員の合意によらない限り、新たに団員を受け入れることはできない。劇団員は互いに仲良く誠実にし、収益の確保と損失を避けることに努める。

2月15日の補足事項

Hugues Leroulx と Jean Leroulx sieur de la Roussière の兄弟二人は、2月9日の協約で定められた期間中、楽師として劇団に加わり、収益の分配にあずかる。その取り分は1、つまり一人当たりの取り分は2分の1とする。Leroulx 兄弟が荷物の運搬や道具の費用を分担するのは収益の分配にあずかるようになってからとする。また Leroulx 兄弟は舞踏会その他で演奏することを依頼された場合は、劇団が関わる時以外は、報酬のすべてを受け取ることができる。

[特記事項] 劇団から脱退したり劇団協約に違反した場合の但し書きを読むと、Fleury Jacquault と妻 Colombe Vénère の二人とその他の劇団員との間に、かなりはっきりとした隔たりがあるように感じられる。「オルレアンでの judgement」というのが具体的にどのようなものかは不明であるが、前後関係から上演用の台本に関わるものと推測することができる。Janvier の「妻」のことも記されているが、名前は書かれておらず、取り分 part にもあずかっていない。妻として夫に同行しているだけなのか、それともまだ見習の段階なので名前も取り分も記されていないのか、不明である。なお、文書2では正規の劇団員として協約に加わり「取り分」にもあずかっていた Léonard Dalanbour (ou d'Alambourg) が、この文書ではなぜか「立会い」として署名に加わっているだけである。しかも、2月15日の補足事項では名前さえも記されていない。理由はわからないが、気になることではある。

2月15日の補足事項に記された「立会人として同席した同劇団の Guillaume Desforges および Jehan Valliot」という文言から推測すると、Desforges と Valliot の二人はおそらく2月9日の協約の時点ですでに劇団に加わっていたものと思われる。まだ見習のため協約文書には名前が記されなかったのだろう。

劇団の総勢は少なくとも10人となる。正規の劇団員は Jacquault、Vénère、Guérin、Janvier、Gasteau の5人、楽師として Leroulx 兄弟の2人、見習として Desforges と Valliot の2人、それに Janvier の妻（女優であるかどうかは不明だが）である。

あとは Dalanbour をどう見るかだが、もしも劇団に加わっているなら「取り分」にもあずかるはずなので、2月9日の協約に立ち会っただけと考えるのが妥当だろう。

付記

公証人ギヨーム・ギヨ Guillaume Guillot 関係の書類のうち、私が直接手にとって確認できたのは 5 E 5, 91 から 107 まで (1597年から1619年まで) でしかない。その中で、演劇に関係する文書は今回紹介した3点のみである。よくぞそれだけ見つかったものだというのが実は率直な感想であるが、その一方で、複数の文書が見つかったのはある意味で当然だったという思いもある。

ギヨーム・ギヨ関係の書類だけでなく16世紀末から17世紀初頭にかけての記録を網羅的に調査しようとするれば、アンジェの古文書館だけに限定しても、気が遠くなるような時間が必要となる。たとえば「5 E 5 (Angers 1580-1630)」として分類されている古文書は15人の公証人の記録を集めたものであり、その上位分類に当たる「Série 5 E」になると公証人の数はもっとずっと多くなる⁽⁸⁾。

私がアンジェで確認できた *liasse* (ひとまとまりに分類された書類の束、たとえば「5E5, 91」はそれでひとつの *liasse* をなしている) は数にしてみれば17に過ぎないが、高さにして20センチ以上もある書類束の紐を解き、そこから文書をひとつずつ取りだしてページを1枚ずつめくりながら調べるのだから、手間と時間がかかる作業であることは推察していただけるだろう。しかも、書類の束を山と積んで調べてみても、その中に演劇に関係する文書が隠れているという保証はまったくない。だから、限られた時間で、しかも特定の公証人の限られた記録を調べただけでは、3点はおろか1点も発見できなくても不思議ではない。その意味で、よくぞ3点も見つかったものだと思うのである。

だが、これは単なる幸運ではなく、当然の結果でもあった。17世紀初頭という時代にいくつもの劇団がこの町を頻繁に訪れたわけではないだろうし、まして協約文書の作成の機会となるとさらに少なかったに違いない。だが、もしもその機会があったとすれば、ある特定の劇団あるいは俳優たちが特定の公証人のもとにおもむいた可能性が高いと考えてよいだろう。その意味で、ギヨーム・ギヨ関係の書類から演劇に関わる文書が複数見つかったことは、予想された結果とも言えるわけである。

私がギヨーム・ギヨに的を絞った理由は、Emile Pasquier の論文⁹⁾を通じて文書2を知っていたからである。文書1と3を発見できたのは確かに幸運だったが、それ以上にPasquierがこれらを見過ごしたことが私には意外に思える。Pasquier以後も文書2の存在を知る研究者は何人もいたはずだが、誰一人として原資料の再確認を試みなかったようだ。そのおかげで— 幸運にも — 私が文書1と3の第一発見者となることができたということだろう。

註

(1) これら3つの文書はアンジェ Angers 市のメヌ・エ・ロワール県立古文書館 Archives départementales de Maine-et-Loire (106, rue de Frémur, ANGERS) に収められている。なお、Guillaume Guillot のもとで1597年から1651年にかけて作成された文書は5E5, 91 - 128bis の分類番号にまとめられている。

(2) 「17世紀フランス演劇史研究ノート—1603年アンジェ：ある劇団協約文書をめぐって」(『エイコス』第5号、1989年、p.1-12)。文書2の発見者Emile Pasquierが発表した transcription の問題点を指摘し、その間違いを訂正したうえで、文書の全文を補遺として掲載したものである。しかし、私自身の不手際から一部に校正漏れが残ってしまい、結果的に不完全な transcription となってしまった。今回はそれを訂正する機会としたい。

Cf. Emile Pasquier, « Les Archives notariales d'Angers », in *Mémoires de la Société d'agriculture, sciences et arts d'Angers*, 6^e série, t.VIII (1933), p.5-22. Appendice III. « Acte d'association des comédiens du roi, le 19 août 1603, à Angers » (p.20-22).

(3) 俳優の名前の表記については、主に次の2つの文献を参考にした。

- Georges Mongrédien et Jean Robert, *Les comédiens français du XVII^e siècle. Dictionnaire biographique*, 3^e édition revue et augmentée, Paris, Editions du CNRS, 1981.

- *Le théâtre professionnel à Paris, 1600-1649*, Archives Nationales, Documents du Minutier central des notaires de Paris. Etude par Alan Howe. Documents analysés par Madeleine Jurgens et Alan Howe. Transcriptions par Andrée Chauleur et Pierre-Yves Louis, Paris, Centre historique des Archives nationales, 2000.

- (4) Fleury Jacquault の名は、上記 *Les comédiens français du XVII^e siècle* や *Le théâtre professionnel à Paris, 1600-1649* を含むほとんどの研究文献で *Fleury Jacob* と記されているが、本人の署名は *Jacquault* であるのでその表記に従うことにする。*Jacob* と *Jacquault* の違いについては、前掲「17世紀フランス演劇史研究ノート — 1603年アンジェ：ある劇団協約文書をめぐって」も参照されたい。
- (5) 詳しくは拙稿「Alexandre Hardy, comédien — 1600年アンジェの古文書が語ること」（九州フランス文学会『フランス文学論集』第34号、1999年、p.15-25）を参照されたい。
- (6) Colombe Vénrière の名は、*Les comédiens français du XVII^e siècle* を含むほとんどの研究文献で *Venier* と記されているが、文書2および文書3の協約本文中では *Vesniere* と記されており、本人は *Veniere* と署名している。これをふまえて彼女の名を現代風に綴れば *Vénrière* となるだろう。前掲「17世紀フランス演劇史研究ノート — 1603年アンジェ：ある劇団協約文書をめぐって」も参照されたい。なお、*Le théâtre professionnel à Paris, 1600-1649* では *Colombe Vénrière* と表記されている。
- (7) Léonard Dalanbour の名については、前掲「17世紀フランス演劇史研究ノート — 1603年アンジェ：ある劇団協約文書をめぐって」を参照されたい。なお、*Le théâtre professionnel à Paris, 1600-1649* では *Léonard d'Alambourg* と表記されている。
- (8) *Inventaire de Notaires* で Série 5E に記載されている公証人の名前と分類番号や年代を転記し始めたのだが、80数人分まで書き写したところで中断したままになっている。そのため、手元の記録ではそこまでしか確認できないが、これだけでも大変な数であることはおわかりいただけるだろう。
- (9) 註(2)参照。

文書 1 Acte d'association des comédiens du roi, le 22 mars 1600, à Angers

Le vingt deuxième jour de mars l'an mil six cens apres midy

Furent presans et personnellement establyts Chacuns de Mathieu Lefebvre sieur de la Porte, Jacques Robineau sieur de la B(r)etonnyere, Fleury Jacob sieur de Montfleuy, Claude Husson sieur de Longueval, Danyel Du Gué sieur de la Chesnaie et Alexandre Hardy tous commediens du roy et estans de presant en ceste ville d'Angers Lesquelz, de leur bon gré et vollonté recogneurent et confessèrent avoir faict et accordé entre eulx assotiation et assemblée dès ce jour d'huy jusques à d'huy en ung an prochain antier et parfaict pour en estre pendant ledit temps de compagnie, ensemblement jouer et représanter commedies et histoires et en tels lieux et endroitz qu'ilz adviseront bon estre Et pour ce faire se transporteront es villes et autres lieux et endroitz qu'il conviendra selon leur commung advis et mutuel consentement Sans que pendant ledit temps nul des dessusdits se puisse départir et absenter de ladite compagnie pour quelque temps né occasion que ce soict et puisse estre, sinon du consentement de ladite compagnie, à peyne au contrevenant de cinquante escus de peyne commise stippulée et acceptée par les dessusdits, au paiement de laquelle somme sera le contrevenant et absentant tenu et contrainct par emprisonnement de sa personne la part où il sera trouvé Nonobstant chose qu'il puisse proposer et alléguer A quoy ilz ont dérogé ladite somme applicable au profit des autres de ladite compagnie. Sy l'ung d'eulx demeure mallade soict de malladie naturelle ou accidentelle Sera traicté, pansé et allimenté jusques à son antière et parfaite garison aux despans et fraiz commungs de ladite compagnie. Seront tous les dessusdits ungs et commungs es gains, profictz et hazardz qu'ilz ou l'ung d'eulx pourront profiter et acquérir durant ladite presente association, soict ce qui proviendra desdits commedies et jeux ou autrement en quelque sorte et manière que ce soict Sans que l'ung d'eulx y puisse pretendre plus grande part et portion que l'autre sur lesdits gains, proficts et esmollumens; sera au préallable pris et hosté la septiesme partie au total pour l'entretien des habitz et accoustremens qu'il leur conviendra pour représenter leurs commedies tragedies pastoralles et autres jeux laquelle septiesme partie pour lesdits habitz sera prise et levée par lesdits Lefebvre, Robineau Jacquault et Husson habitz Et le surplus sera partagé et divisé; et en auront chacun des dessusdits ung sixiesme esgallement comme dict est. Seront tous les fraiz et despans, tant pour leurs nouritures, louages de maisons, conduictes et voitures et autres que besoing sera les premiers pris et levez de dessus lesdits gains et receptes et apuravant que venir à partage Et quand aux enfans qui sont de présent avec les dessusdits ils ne pourront se départir de ladite compagnie par la persuasion et intelligence d'aucun de ladite compagnie, sinon du mutuel advis et consentement de tous ces dessusdits sur les que dessus Les dessusdits enfans seront nouriz et entretenus aux despans et fraiz commungs desdits associez Et toutesfois et quantes que plaira ausdits Hardy et Du Gué ou l'ung d'eulx paier leur partz et portion desdits habitz et acoustremens Ilz participperont au profict d'iceulx depans desdits paiemens ou l'ung d'eulx la part où il sera trouvé la part pour lesdits habitz sera prise et levée par lesdits Lefebvre,

Robineau, Jacault et Husson au habitz, acoustremens Et par ce que lesdits Jacault et Du Gué scavent jouer du violon et autres instrumens est convenu et accordé que sy durant ledit temps de associacion ilz ou l'ung d'eulx assistent à quelques balz ou musicques ilz en prendront pour ce tous les profitz et esmollumens sans que les quatre autres y puissent rien prétendre pourveu et non autrement que toute ladite compagnie n'aient aulcune visite à faire pour représenter commedies ou autres jeuz Aussy s'il estoict necessaire faire quelque visite Ils ne pourront aller ausdits balz ou l'ung d'eulx Et au surplus se garderont toute fidelité amityé et loyauté entre eulx Et ne permettront que aulcun de leur dite compagnie soit incommodé, molesté né interessé par ^{quelques personnes *} quelque personne que ce soient Et s'y opposeront les autres à leur possibilitté sy quelque querelle ou debat intervient entre aulcuns d'eulx ^{en courrant [?]*} en courrous les autres pour les mettre d'accord Et a l'entretènement et accomplissement de tout ce que dessus les dessusdits Lefebvre, Robineau, Jacob, Husson, Du Gué et Hardy se sont promis et jurez respectivement l'ung à l'autre fidelité Et ce sont pour cest effect soubzmis et obligez soubz la court royal d'Angers par davant Guillaume Guillot notaire du Roy audit lieu avec tous et chacuns leurs biens et mesmes leurs corps à tenir prison Et ont renoncé et renoncent, etc., Ce fut faict et passé audit Angers à notre tablier, présens syre Thomas Lejay marchant M^e Claude Doublard et Michel Guillet demeurant audit Angers.....

| | |
|-------------|---------------|
| Robineau | A. Hardy |
| | Daniel Du Gué |
| Lefebvre | |
| Jacquault | Husson |
| | Le Jay |
| C. Doublard | M. Guillet |
| | Guillot |

* Corrections proposées par Alan Howe ("Alexandre Hardy et les comédiens français à Angers au début du XVII^e siècle", *Seventeenth-Century French Studies*, 28 (2006), pp.33-48. Voir les pages 46-47 ainsi que la note 50.) -- le 8 décembre 2006, Tamiya Toguchi

文書 2 Acte d'association des comédiens du roi, le 19 août 1603, à Angers

Mardy apres midy dix neufiesme jour d'aoust mil six cens trois.

Devant nous Guillaume Guillot notaire royal Angers et tesmoins cy après nommez furent présenz et personnellement establytz chacuns de Jacques Robineau sieur de la Bretonnière, Fleury Jacault sieur de Montfleury (et) Collombe Vesnière sa femme, Danyel du Gué sieur de la Chesnaie (et) Claude Piton sa femme, et Léonard Dallembourg, tous comédiens ordinaires du Roy estans de présent en ceste ville, lesdites femmes de leursdits marys suffisamment auctorizées, quant a ce lesquelz deüment subzmis et obligez respectivement etc confessent avoir ce jour d'huy faict et font entre eulx et autres cy après nommez l'assotiation et assemblée aux condicions, charges, clauses et conventions qui s'ensuivent, cest à savoir qu'ils se sont du jour d'huy assemblez et assotiez ensemblement jusques au jour de caresme prenant prochain pour de compagnie aller et se transporter ensemblement en les villes, lieux et endroitz qu'ilz adviseront entre eulx pour représenter et jouer commédies, tragédies, pastoralles et autres jeuz selon qu'ils verront bon estre. Quand aux fraiz qu'il conviendra et sera requis et nécessaire de faire soit pour louages de jeuz et maisons, pour la conduite et voitture de leur bagage et autre despence et fraiz, seront les premiers prins, levez et hostez sur ce qu'ils receperont. Pour les deniers qu'ilz pourront recevoir seront, après lesdits fraiz préallablement levez et hostez, partagez entre tous lesdits assotiez cy dessus. Scavoir est que lesdits Robineau, Jacault, du Gué et Dallembourg en prendront chacun d'eulx une part par esgalle portion et quand auxdites femmes elles prendront chacune d'elles trois quartz d'une desdites parts, fors ladite Vesnière qui ne prendra que demye part jusques a d'huy en ung mois prochain seulement, et, ledit temps d'ung mois passé, prendra lesdits trois quartz. Et lors que lesdites parties représenteront pièze où il ne sera requis y avoir que une femme, lesdites Piton et Vesnière représenteront une ung jour et l'autre l'autre jour ; et quand il conviendra plusieurs(?) desdites femmes représenter le(?) mesme jour la mesme tragédie, ladite Piton représentera les premiers rolles et ladite Vesnière les secondz, lorsqu'elles scauront lesdits roolles. Sinon où ladite Piton ne pourroict sy promptement apprendre lesdits roolles lorsqu'il seroit requis et que ladite Vesnière les aprist plus tost, en ce cas ladite Vesnière représentera les premiers. Et pour le regard de Toussaintz Dallibert et Jullien Bedeau, Callais Anquetif et François Bedeau qui sont en ladite troupe seront nourriz entretenuz et desfrayez par lesdits assotiez à commungs fraiz et n'auront aulcun gaigne ne part quelque fut, sinon lesdits Dallibert et Jullien Bedeau que, le jour de caresme prenant prochaing venu, prendront chacun demye part pour le temps qui pourra lors rester à escheoir seulement, auquel jour de caresme prenant sera baillé, aux despent commungs desdits assotiez, ausdits Dallibert et Jullien Bedeau chacun ung habit pour leur usage et rescompance du service qu'ilz pourroient faire en ladite assotiation jusque audit jour. Au surplus se garderont les assotiez toute loyaulté, fidellité et amitié entre eulx, procureront leur gaing quelque fut, esviteront les pertes et dommages à leur possibilité, sans se faire ne dire par soy, ne par personne interposée, ne souffrir estre faict

aucun tort, dommage, injure ne desplaïr; que si aucuns leur est fait, tascheront ensemble les faire réparer. Au cas qu'il intervienne entre eulx quelque querelle ou débat seront paciffiez et accordez par les autres de ladite compagnie avec le plus de dousseur et amitié que fera se pourra; ce qu'ilz ont promis et juré, stippulé et accepté, dont ilz en sont demeurez d'accord respectivement obligez et obligent leurs corps à tous royaulx Sy fut faict et passé audit Angers maison et présence de Mathurin(?) Le Jay sieur de la Verinière(?) et aussy en la présence de Jehan Gangneur orpèvre et Michel Guillet demeurant à Angers ; ladite Piton a dit ne scavoïr signer.

Robineau

Dalanbour

Daniel Dugué

Callais Anquetif

Gangneur

Jacquault

Le Jay

Veniere

Guillot

文書3 Acte d'association des comédiens du roi, le 9 février 1606, à Angers

L'an mil six cens six le neufiesme jour de febvrier avant midy

Furent presents en leurs personnes deusment soubzmis et obligez Fleury Jacault sieur de Montfleury, Collombe Vesniere sa femme de luy suffisamment auctorizée par devant nous quand à ce Robert Guérin sieur de La Fleur, Pierre Janvier et Nycollas Gasteau tous commédiens ordinaires du Roy, estant de présent en ceste ville d'Angers Lesquelz recognessent et confessent avoir fait et font entre eulx l'assotiation et accord en la forme qui ensuit, c'est assavoir qu'ilz se sont du jour d'huy assotiez et assemblez, se associent et assemblent pour estre et demeurer de compagnie ensemblement pendant et durant le temps d'ung an antier à commencer cedit jour et finir à pareil jour, sans aulcun intervalle et discontinuation, se transporter par les villes, lieux et endroicts qu'ilz adviseront pour représenter et jouer toute et telle sortes de jeuz, tragédies, comédies et histoires qu'ilz verront bon estre Affin de quoy se fourniront respectivement d'habitz et accoustremens qu'il leur conviendra pour représenter lesdits jeux A condition que les gaings, profitz et esmollumens qu'ilz pourront toucher et recepvoyr se partageront et diviseront esgallement et par esgalle portion entre eulx et en auront chacun ung cinquiesme sans que l'ung d'eulx en puisse avoir né prétendre davantage l'ung que l'autre. Seront tous les fraiz, mises et dépense qu'il leur conviendra faire en commun, tant pour voiture, charroyz et transport de leurs hardes et bagages, que louage de maison et autres fraiz nécessaires pris et levez par préférence sur les deniers commungs procédans de leur recepte Ne pourront lesdits assotiez né aulcun d'eulx se disjoindre et séparer de ladite compagnie durant ledit temps Sy ce n'est de l'exprès vouloir et permission, et consentement de tous pour quelque subject et occasion que ce soict, à peyne de cent cinquante livres tournois d'amende et peyne comminatorye que celuy ou chacun d'iceulx qui se sépareroit et contreviendrait à ces présentes paiera aux autres incontinant après ledit procès(?) et contrevenance Auquel pareillement il sera contrainct par corps et emprisonnement de son corps(?) Et audit cas de séparation ou contravention à ces présentes Sy elle procedde de la part desdits Jacquault et sa femme, ils seront et ont promis et demeurent tenus bailler et fournir aux autres leurs coassotiez ce qui manque et reste des coppies de jeuz et histoires qu'ilz ont cy devant coppiés suivant le jugement doné ^{contre *} entre eulx à Orléans Mais si c'est de la part des autres Iceux Janvier et sa femme seront deschargez du fournissement desdits pieczes Seront pareillement les serviteurs et domestiques desdits assotiez nouriz et entretenuz à commungs fraiz Ne pourra aulcun estre receu et admis en ladite troupe sy ce n'est de l'adviz et consentement de tous lesdits assotiez Et au surplus se garderont entre eulx toute fidellité, loyaulté et amitié, procureront ces gaings et utilité, esviteront leur perte et dommage à leur possibilité ce qui est stipullé et accepté A quoy tenir et entre deument oblige respectivement mise leur corps à tenir prison comme pour deniers royaux pour représenter lesdits jeux foy jugement et fait audit Angers à notre tablier, présens Léonard Dallembourg, Hugues le Roux ^{joueurs *} joueur d'instrumens, Michel Guillet et Pierre Boyreau clerck demeurant audit Angers

Jacquault Janvyer
 Veniere
 H. Leroux
 Robert Guérin Dalanbour
 Gasteau
 M. Guillet Boyreau
 Guillot

Et le quinziesme jour desdits moys et an apres midy. Ont derechef compareu en leurs personnes lesdits Jacault, Janvier, Guérin et Gasteau nommez cy dessus d'une part, Et Hugues Leroux et Jean Leroux son frère sieur de la Roussière, d'autre, lesquels ont faict et font entre eulx l'association cy apres, C'est à scavoire que lesdits les Roux se sont jointz et assemblez aux autres qui les ont pris et annexés en leur compagnie pour jouer d'instrumens sur le théastre et faire de leur part ce qu'il conviendra durant le temps de l'association cy dessus mentionnée(?) pour participper par lesdits les Roux aux gains, profits et esmollumens proceddans de leurs jeuz et tragédie pour une part seulement qui est pour chacun d'eulx deue, demye part avec les autres assotiez après les fraiz et mise et impaiez s... et hostez par la forme prescripte par ledit accord Et au surplus aux autres et mesmes clauses(?) pa... et lo..... y contenu dont à cest effect a esté presentement faict l'estat, Ecespé (excepté) seulement que lesdits les Roux ne contribueront aucunement aux fraiz du port, voitture et transport des bagages et autres esquipages de ladite compagnie jusques à ce qu'ils aient commancé à recevoir leur part des gains et receptes qui se pourront faire, ce que à ce stipullé et accepté Et à ce tenir, Et au cas que lesdits le Roux soient priez d'aller au bal ou ailleurs, faire le pourront et en auront pour le tout les profitz pourveu que ce soit aux heures autres que celles que la compagnie aura à faire d'eulx p.... Ce sont lesdits les Roux obligez et obligent par la teneur dudit accord qui sera exécutoyre et tiendra contre eulx ainsy que contre les autres y desnommez faict et passé audit Angers à notre tablier, présens Guillaume Desforges et Jehan Valliot de ladite compagnie, tesmoings.

Jacquault H. Leroux
 Janvyer
 Robert Guérin
 J. Leroux
 Desforges Gasteau
 Valliot
 Guillot